七飯中学校　学校教育目標

自ら考え　主体的に活動する生徒　Smart
あたたかく相手を認め高め合う生徒　Respect
夢や目標に向かって　挑戦する生徒　Challenge

七中だより

令和７年３月２４日

七飯町立七飯中学校
校長　細　川　和　成

新年度に向けて

例年より積雪が少なく，春の到来を早く感じます。本校の校門前は，日陰になるため，冬季には凍結することが多かったのですが，転倒の心配がなくなり，一安心です。

３月１４日（金）は第７８回卒業式が挙行され，多くの涙で別れを惜しむ感動的な式典となりました。コロナ禍で，規模が縮小されていたわけですが，今年度は久々に在校生を入れての卒業式となり，ステージの上からの眺めはとても壮観でした。在校生を入れた主な理由は２つです。

①今，本校舎は約半世紀に１度の大改修工事を行っています。ちょうど体育館の床以外の改修が終わり，改修後，最初の大きな行事でありましたので，そのお披露目を兼ねておりました。

②本校はここ２年間縦割りによる学校行事を生徒の手によって進めてきました。特に，今年度は３年生が１・２年生をリードし，新たな七中の伝統を築き上げました。ぜひ，同じ会場でお祝いしたいとの思いがありました。

卒業生はもちろんのこと在校生の参加態度も立派であり，送辞や答辞の高尚さや３年生の記念合唱「群青」の力強さ，吹奏楽部の華のある演奏など，活気ある今の七飯中の姿を象徴しているものと自負しております。ご来賓の皆様並びに保護者の皆様，ご臨席ありがとうございました。

さて，令和５・６年度の重点教育目標**「自己決定を通して，発信する力を育みます。」**は，校内外の評価の結果，一定の成果を上げたものと捉えており，特に，生徒が主体的に考えて行動するといった姿については，手応えを感じています。一方，見通しをもって取り組むことや実生活・実社会に役立てようとする態度などは道半ばであると考えています。

したがって、令和７年度の七飯町教育行政執行方針『全てのこどもたちに夢をもつことの大切さを育み、さらにその夢を実現できる力を身に付けさせる。』と本校の課題を踏まえまして，次年度の重点教育目標は**『発信する力を磨き，自己実現をめざします。』**と定めました。***「あなたは，どうしたい？」から「あなたは，どうありたい？」にシフトします。***詳細につきましては，新年度の学校経営方針として，職員会議，学校運営協議会やＰＴＡ総会を経まして，地域にお知らせする予定です。

終わりになりましたが，ご家庭や地域の皆様，令和６年度の七飯中学校の教育活動に，多大なるお力添えをいただきましたことに，心より感謝いたします。令和７年度もどうぞよろしくお願いいたします。

～成長の１年でした！～

令和６年度は令和５年度に引き続き、【「自己決定」を通して「発信する力」を育みます】という重点教育目標のもと、校内体育大会や学校祭、総合的な学習の時間を中心に全校生徒で学習に取り組んできました。また、今年度から文科省委託のインクルーシブな学校運営モデル事業（本校の１年生と七飯養護学校の１年生が交流及び共同学習を行いました。）を通してお互いの理解深めるなどし、支持的風土の醸成にも努めてきました。この１年、卒業していった３年生がリーダーシップを発揮し、１・２年生が支えることで新たな道を切り拓くことができました。来年度さらにステップアップを図っていけるとよいですね。

◆第３回学校運営協議会開催！（２月 27 日）

第３回学校運営協議会は本校の校則検討委員会とともに校則について協議しました。日本全国で社会や地域性に合わせた校則の改正が行われています。本校も例外ではありません。また、校長先生より、令和７年度の七飯中学校の方針について説明があり、地域の方々から同意をいただきました。

◆七飯中学校第 78 回卒業式（３月 14 日）

先日、令和６年度七飯中学校第 78 回卒業式が行われました。厳粛な雰囲気の中、106 名の生徒が七飯中学校を巣立っていきました。

凛とした姿、響き渡る合唱、すべてが今年の一年を象徴したすばらしい卒業式となりました。卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。そして今までありがとうございました。

～今までお世話になりました～

この度は５名の先生方とお別れとなります。これまで七飯中学校のために、力を尽くしていただきありがとうございました。新天地におかれましてもお体にお気をつけて頑張ってください。

深山　裕一　教頭先生（北斗市立上磯中学校）

本校では合わせて 14 年間勤務させていただきました。その間、保護者や地域の皆様、そして素直であたたかい生徒の皆さんに支えられ、充実した毎日を送ることができました。この度、北斗市立上磯中学校への異動となりましたが、七飯中学校での経験を活かして、次の職場でも頑張りたいと思います。今までありがとうございました。

大橋　宏朗　先生（駒澤大学附属苫小牧高等学校）

本校では１年間と短い期間での勤務でしたが、生徒たちが主体となり活躍するこの学校で勤務することができ、うれしく思います。今後は私自身の新たな挑戦となる勤務です。生徒・保護者の皆さん、大変お世話になりました。

佐々木　甲二　先生（北海道函館高等支援学校）

３年間の短い間でしたが、生徒の皆さんや保護者の皆様からたくさんのことを学ばせていただき、また、たくさんの楽しい思い出を作ることができました。函館高等支援学校への異動となりますが、七飯中学校での経験を生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

相澤　弘司　先生（ご退職）

「理科ポイントのアイちゃん」として、子どもたちと楽しく教員最後の４年間を過ごすことができました。これも、素直で心優しくそして向上心の強い子どもたちと保護者の皆様のご協力のおかげです。あらためて感謝を申し上げます。４年間有難うございました。

髙橋　慎吾　先生（七飯町立大沼岳陽学校）

６年間、大変お世話になりました。優しい子どもたちや保護者の皆さま、地域の皆さまに本当に恵まれて、私自身も一緒に成長させていただくことができました。どうもありがとうございました。来春からも同じ七飯町内での勤務となります。また皆さまのお力をお借りする場面もあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

令和６年度七飯中学校重点教育目標

「自己決定」を通して「*発信する力*」を育みます。

本校ではこの１年間、この学校教育目標の具現に向けて、生徒の資質・能力の育成に努めて参りました。今後も保護者の皆様・地域の皆様と協働して、自走する生徒を育て参ります。ご支援・ご協力よろしくお願いします。

この１年、七飯中学校をサポートしていただき、ありがとうございました！